

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 30 年 6 月 29 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	飲料工場におけるボイラーの更新
承認番号	JCDM-PJKC0738
排出削減事業者名	ハルナプロデュース株式会社
排出削減共同実施事業者名	テス・エンジニアリング株式会社
事業実施場所	タニガワプラント：群馬県利根郡みなかみ町政所 1011
事業の概要	本事業は、重油ボイラーを高効率天然ガスボイラーへ更新することで、エネルギー使用の高効率化を進めるとともに、二酸化炭素の排出原単位が小さい燃料へ転換と合わせて、二酸化炭素排出量の削減を図るものである。
排出削減量の計画	2010 年度：2,232 tCO ₂ 2011 年度：2,232 tCO ₂ 2012 年度：2,232 tCO ₂ 2013 年度：2,232 tCO ₂ 2014 年度：2,232 tCO ₂ 2015 年度：2,232 tCO ₂ 2016 年度：2,232 tCO ₂ 2017 年度：2,232 tCO ₂ (事業実施期間合計：17,856 tCO ₂)

クレジット認証期間	開始日 2010年4月1日 終了予定日 2018年3月31日
排出削減方法論	方法論 001：ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2018年3月31日（第4回実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	12,693 tCO ₂ （2013年4月1日 ～ 2018年3月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認排出削減事業計画通りに、事業実施場所であるタニガワプラントにおいて LNG ボイラーが設置されていることを確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における LNG 購買記録等の資料により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法において、排出削減事業計画書に基づき適切に実施されていることを確認した。

	<p>2) LNG 使用量について適切に収集・集計され、使用量の把握・管理が確実になされていることを確認した。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている排出係数等が方法論及び承認された排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>算定期間は、2018年3月31日までであり、認証期間の終了日である2018年3月31日を超えていない。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量については原油換算-848.0kLであることを確認した。